

長崎 もりの通信

— NAGASAKI FOREST NEWS —

特集▼県民参加の森林づくり ～ながさき森林環境税～

- 技術研修会inハイブリッドの森～林業機械作業編～
- センターからのお知らせ

043号

H28.10月

◆ながさき森林環境税

森林が、その重要な役割を果たしていくためには、適正な森林整備がおこなわれ、森林が元気な状態でなくてはなりません。これまで、これらの森林整備は、森林所有者の負担によっておこなわれてきましたが、林業の採算性の悪化などから、森林所有者の負担だけでは、森林整備が進まなくなっています。

そこで、森林・林業を取り巻く厳しい現状を踏まえ、かけがえのない森林を守り育て次世代に引き継いでいくため、森林の恵みを享受している県民の皆様に広く薄く費用を負担していただき、社会全体で森林を支えていく新たな仕組みとして、平成19年4月から「ながさき森林環境税」を導入しました。

※長崎県HP抜粋「ながさき森林環境税とは」

今年度は第2期目（10年目）最終年度となっております。事業見直しの年度となっております。森林はまだ手入れを必要としています。



◆税のしくみ

課税の公平性、徴税コストを考慮して、県民税均等割額に加算して収めていただく超過課税方式です。

《個人》

納税義務者：個人県民税均等割を納める方

税額：年額：500円

課税期間：平成19年度から平成28年度

《法人》

納税義務者：法人県民税均等割を納める法人等

税額：県民税均等割額の5%相当額

課税期間：平成19年4月1日から
平成29年3月31日までの間に
開始する事業年度等

◆事業内容

- しまの間伐促進
- ながさき県民参加の森林づくり（制度型）
- ふるさとの森林づくり
- 未整備森林緊急整備
- 環境保全林緊急整備
- 林内路網緊急整備
- ※ながさき県民参加の森林づくり（公募型）
※平成26年度から公募事業の募集は行っていません

◆制度型事業実績

団体名	内容	活動地域
雲仙 百年の森づくりの会	島原半島高校生卒業記念植樹（卒業の森）育樹の集い	島原市
鶴鳴学園 長崎女子高等学校	美しい竹林を蘇らせよう②	長崎市
長崎県 みどりの少年団連盟	長崎県みどりの少年団交流集会	諫早市 他
長与町立 長与北小学校	森林体験学習	諫早市
八幡小 みどりの少年団	森林教育と壱岐の間伐材を利活用したものづくり体験	壱岐市
長崎県 林業研究グループ 連絡協議会	長崎県林業研究グループの活動発表退会と交流集会	長崎市

平成27年度は6団体が活動し、延べ1,834名の方々が事業に参加しました。

県民参加
森林づくり
～ながさき森林環境税～

～平成28年度の活動状況～

◆ 芦辺小みどりの少年団（吉崎市） ◆

芦辺小みどりの少年団は、森林学習会・間伐体験・木工体験をすることで、森林の働きや手入れの必要性を学ぶことを目的としています。

10月13日（木）に、森林学習会と間伐体験を行いました。身近にある巨樹を見て森林の働きを学習した後、実際に間伐体験を行いました。残るは木工体験です。間伐した後の木の利用についてしっかり学んで欲しいですね。



◆ 初山小みどりの少年団（吉崎市） ◆



10月14日（金）に間伐体験とベンチづくりを実施しました。まず、林内で間伐体験です。講師が受け口をつくり、ノコギリで1本の木をみんなで少しずつ伐ります。倒れる時の音に驚いている様子でした。伐り終えた林内から空をみあげた子供たちは「明るくなった！」など様々な感想が飛び交っていました。

その後は、学校の体育館に戻りベンチづくりを行いました。初めて扱うインパクトドライバーに悪戦苦闘しながらも積極的に製作する子供たち。試行錯誤しながら、作り上げていく様子に保護者、先生、吉崎市林業研究同志会の皆さんが感動されていました。

終了した子供たちは「伐った木を利用することが大切なんだね。」と話してくれました。

今回製作したベンチは、郷ノ浦港ターミナルビルに寄贈されます。

◆ 長崎県林業研究グループ連絡協議会 ◆



長崎県林業研究グループ連絡協議会は、県内12の林業研究グループの取りまとめを行っています。

9月8日（木）に林業研究グループ九州地区交換研修大会が長崎県で開催されました。九州各県の林研グループの活動の発表、基調講演などがあり、九州林研グループの情報交換の場となりました。

長崎県代表として発表したのは東彼林業研究会の楠本さん。東彼林業研究会はハラン等の特用林産物による短期収入を確保しながら森林施業を行っています。この日は、ハラン栽培に関することを中心に苦労した点や椎茸栽培などについてもお話してくださいました。

見事、最優秀賞を受賞した東彼林業研究会のみなさんは、来年2月に開催される全国林業グループコンクールに九州ブロック代表として出場します。頑張ってください。



参加の
づくり
森林環境税～



技術研修会 in ハイブリッドの森 ～林業機械作業編～



平成28年10月22日（土）に技術研修会inハイブリッドの森～林業機械作業編～を開催しました。この日は大雨で、作業道もぬかるんでいましたが、長崎南部森林組合長崎支所のみなさまにご協力いただき、伐木のデモンストレーションや高性能林業機械を実際にみることができました。

まず、伐木の仕方について教えていただきました。受け口のつくり方、伐り方のポイント（ガイドバーで確認をしながら伐るとまっすぐ伐れる）などをひとつひとつ丁寧に実演してくださいました。くさびをつかった伐倒の方法は退避時間が確保でき、安全に倒すことができることを再認識できました。森林整備のプロは伐倒方向も正確でした。

次に、普段みることがない高性能林業機械をつかってどんな作業を行う機械なのかを教えていただきました。高性能林業機械とは、作業の効率化、身体への負担の軽減など、性能が高い林業機械です。

今回見せていただいたのは、物をつかむグラップル機能・バケット機能をもつ「ザウルス」。枝払い・玉伐り機能をもつ「プロセッサ」。伐った材をグラップルクレーンで荷台にのせ運ぶ「フォワード」の3つの高性能林業機械です。

ザウルスは、木をつかみやすいようにバケットが回転するようになっていて、ワイヤーで木を引き出すことができます。目の前でバケットが回転した時は圧巻でした。

プロセッサは、枝払いをおこない、指定した長さで伐ることができます。今回は4mで玉伐りを行い、4本集材する早さに参加者は関心を寄せていました。

フォワードは、伐った木を運びます。これも効率よく上手につまなければなりません。

人が1時間かけて行う作業を機械は1分で終わってしまうほどの効率があるそうです。驚きでした。

その後は、県民の森 森林館でチェーンソーのメンテナンスと目立てを習い、様々な知識を習得することができました。（下の写真左からザウルス、プロセッサ、フォワード）



センターからのお知らせ

～表紙のはなし～

吉崎市指定天然記念物 山川家のエノキ

はじめて訪れた吉岐で元気いっぱい育っている樹木を見ってきました。

吉崎市郷ノ浦にある山川家のエノキは、昭和54年3月22日に郷ノ浦町指定天然記念物、平成16年3月1日に吉崎市指定天然記念物となっています。前畑の中央にあり、高さは約11メートル以上あるそうです。根元に近い幹は老樹のため空洞化してはいたんですが、それでも生育状況はよく、吉岐最大級の樹木なんだそうです。

エノキは成長がはやく、丈夫なため大木になるものも多く、昔から神社の境内に神聖木として植えられたりしていたそうですよ。ほかの地区でも境内に立派なエノキがありました。

エノキのほかにも魅力的な巨樹がたくさんありましたよ。みなさんも吉岐に行かれた際は巨樹を見にいってみてくださいね。

10月分の活動報告は11月10日までに提出してください。

本誌は間伐材利用促進のため、間伐紙を使用しています。